

補正予算特別委員会会議記録

1. 開催日	平成30年12月20日(木)
2. 場所	議員協議会室
3. 出席議員	木戸貞一、大西基雄、小島政行、隅田雅春、向井千尋、渡辺拓道、足立義則、安井博幸、恒田正美、栗山泰三、大上和則、國里修久、吉田知代、前田えり子、河南克典、園田依子、森本富夫
4. 協議事項	議案第87号 平成30年度篠山市一般会計補正予算(第7号) 議案第88号 平成30年度篠山市下水道事業特別会計補正予算(第2号) 議案第89号 平成30年度篠山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号) 議案第90号 平成30年度篠山市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 議案第91号 平成30年度篠山市介護保険特別会計補正予算(第2号) 議案第92号 平成30年度篠山市農業共済事業会計補正予算(第2号) 議案第93号 平成30年度篠山市水道事業会計補正予算(第2号) 議案第94号 平成30年度篠山市農業共済事業会計補正予算(第3号)
5. 議事の経過	9:29 開会  木戸委員長 挨拶  木戸委員長 開議宣告  <b>総務文教分科会座長報告</b> <b>■議案第87号 平成30年度篠山市一般会計補正予算(第7号)</b>  隅田座長より報告(別添参照)後、質疑応答。 - 質疑なし -

## 民生福祉分科会座長報告

■議案第87号 平成30年度篠山市一般会計補正予算（第7号）

■議案第90号 平成30年度篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

■議案第91号 平成30年度篠山市介護保険特別会計補正予算（第2号）

大西副座長より報告（別添参照）後、質疑応答。

### <主な質疑応答等>

- 安井委員 斎場運営管理費に関し、複層ガラス交換について、保証期間は10年間とのことであるが、斎場のガラスは何年程度経過していたのか。
- 大西副座長 平成14年の市営斎場開場後、16年が経過している。
- 安井委員 複層ガラス交換に係る工事費用はいくらなのか。
- 大西副座長 工事請負費として701万9千円が計上されている。
- 隅田委員 塵芥処理費に関し、事業系のごみ量が増加しているとのことであるが、具体的にどの程度増加しているのか。
- 大西副座長 事業系ごみについては約300t増加しており、そのうち100t分の増加費用を補正予算として計上している。
- 渡辺委員 事業系ごみの増加に関して、平成31年度のごみ減量に係る取り組みについての質疑はあったのか。
- 大西副座長 平成30年度における取り組みとして、当局より、「排出量の多い市内事業者30社に対し、基幹的設備改良工事期間中のごみ減量の依頼をさせていただき、とりわけ上位10社に対しては、清掃センター所長と直接赴き、切実な状況を説明してきたが、数社において増加傾向がみられることから、10月には、再度減量依頼の文書を送付している。更に11月には、排出量の多い2社に対し、「ごみ量増加理由書」と「ごみ減量計画書」の提出を依頼し、12月5日に1社と面談を行い、削減にかかる協議を行った。こうした中、100tは追加して搬出する必要があることから、やむを得ず100tの搬出にかかる予算の増額をお願いするものであるとご理解いただきたい。引き続き、事業所に対してごみを削減するよう依頼を強く行っていく。」旨の回答があった。
- 渡辺委員 家庭ごみも含めて市整体的にごみの量が増加しているのであれば、やむを得ないと考えることもできるが、事業系ごみの増加により、補正予算での対応や平成31年度の当初予算が膨れあがることは課題があると考えます。
- 大西副座長 指摘の点を踏まえ委員会として今後、注視していきたい。

河南委員	常備消防費に関し、東出張所の自家用発電設備について、東出張所ができて10年程度が経過する一方、自家用発電設備は整備以降30年が経過しているとのことであるが、当初は中古品を設置したのか。
大西副座長	そうした質疑はなかった。
河南委員	自家発電設備の性能についての質疑はあったのか。
大西副座長	そうした質疑はなかった。
隅田委員	次世代育成支援対策事業に関し、子育て世代を対象としたアンケート調査について、調査結果を踏まえた具体的な施策の説明はあったのか。
大西副座長	アンケートについては現在集計中であることをご理解いただきたい。そうした上で、当局からは、「アンケート調査の目的としては、第3子以降の出産に対して20万円を支給している中、平成31年度以降、どのような形で進めていくかを検討する材料とすることになり、今後の方向性については、小中高等学校の入学期の支給を望む意見もあることから、そうしたものも含めて、検討を進めている」、旨の回答があった。
隅田委員	第3子出産祝い金事業の目的と、今後、検討しようとしている小中高等学校の入学期の支給は、非整合的であると考えている。これまでの事業の検証とともに、新たな事業の目的と取り組み内容については所管の委員会として注視いただきたい。
大西副座長	今後、委員会として注視していきたい。

#### 産業建設分科会座長報告

- 議案第87号 平成30年度篠山市一般会計補正予算（第7号）
- 議案第88号 平成30年度篠山市下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 議案第89号 平成30年度篠山市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
- 議案第92号 平成30年度篠山市農業共済事業会計補正予算（第2号）
- 議案第93号 平成30年度篠山市水道事業会計補正予算（第2号）
- 議案第94号 平成30年度篠山市農業共済事業会計補正予算（第3号）

大上座長より報告（別添参照）後、質疑応答。

#### <主な質疑応答等>

安井委員 都市計画総務費に関し、電線共同溝整備工事において新たにトラン

スを設置した電柱を建柱するために民地を借地するとのことであるが、将来的にも借地料は発生するのか。

大上座長  
恒田委員

当局からは、毎年借地料は発生する、旨の回答があった。

放置空き家対策事業費に関し、行政代執行に至るまで相続人等にはどのような対応を行ってきたのか。

大上座長

当局からは、「平成29年1月23日に地域住民からの空き家に関する対応要請があったことから、相続人に話を伺ったところ、相続分の2分の1を有する相続人と連絡が取れないことから、遺産分割協議が出来ないという状況である。平成29年5月15日、連絡が取れない相続人に対して、空き家の状況について情報提供するとともに、遺産分割協議等への参加に関する助言文書を送付したが応答がなかった。そうした状況の中、平成30年8月24日の台風20号の影響により屋根等が崩落した。平成30年9月3日にドローンにより空撮したところ、構造上主要な部分の多くが欠損しており、倒壊等の危険が切迫していることが判明したため、南側の道路を封鎖した。平成30年9月10日には、相続人全員に対し、空家等対策の推進に関する特別措置法第14条第1項の規定に基づく助言措置、平成30年10月4日には、相続人全員に対し、同法第14条第2項の規定に基づく勧告措置を行い、平成30年11月9日には、相続人全員に対して、同法第14条第4項の規定に基づき、措置命令に係る事前通知を行った」との説明があった。

恒田委員

今回の特定空家に対する行政代執行に至るまでの期間が2年程度であるが、今後も行政代執行に至るまで同様の期間が必要かどうか等について、質疑はあったのか。

大上座長  
安井委員

そうした質疑はなかった。

観光費に関し、電動アシスト自転車の更新について、何台程度を予定しているのか。また、その更新費用は本来、当初予算で計上すべきものとするが、補正予算で計上しなければならない理由等について、質疑等はあったのか。

大上座長

当局からは、特に老朽化が著しく、利用者に提供することを控えている6台の電動アシスト自転車の更新をお願いするものである、との説明があった。また、更新費用を当初予算で計上すべきではないか、などの質疑等はなかった。

安井委員

電動アシスト自転車の更新については、計画的に行っていくべきものであり、当初予算に計上すべきものではないか。補正予算計上する緊急性もあまり感じられないが、分科会において、そうした意見はな

かったのか。

大上座長

当局からは、自転車の老朽化が著しく、利用者の安全確保の上からも、早急に対応したい、との説明があった。

### 議員間討議

木戸委員長

討論、表決に入る前に、全体を通して何か意見はないか。疑義がある場合、市長に確認しておきたい事項があればあげていただきたい。

安井委員

本来、当初予算に計上すべきものが今回の12月補正予算に計上されているとの印象を受ける。斎場の複層ガラスの交換についても、ガラスに破損が見られるのであれば、緊急性も感じられるがどうか。

大西副委員長

当局からは、「斎場の待合ホール及び炉前ホールの複層ガラスにカビが発生し、白濁した汚れが目立つ状態となっている。特に天気の良い午後の時間帯には、非常に見苦しい状態となっており、時間帯は、火葬受け入れ及び収骨の待ち時間と重なることから、多くの利用者の目に触れるため、「ガラス面の掃除ができていない」との苦情もある。「深い悲しみの中で故人を偲ぶとともに、別れを惜しむ人生終焉の場にふさわしい尊厳と格調高い施設」としては、このままの状態を放置しておくことはできない」との説明があり、分科会として緊急性があると判断している。

恒田委員

電動アシスト自転車の更新についても緊急性がないのではないかと。最近、あまり緊急性が感じられないものが、当初予算ではなく、補正予算に計上される傾向があると認識するがどうか。

隅田委員

委員より指摘のあったことについては、今後、所管委員会で意識しながら質疑等を行っていくべきものと考えます。

大上委員

隅田委員の意見と同様にしっかり所管委員会で質疑等を行っていきたいと考えます。

大西副委員長

斎場の複層ガラスについて、夏場以降、明らかに白濁した汚れが進行したとのことであり、利用者からもクレームがあり、緊急性があると判断している。

木戸委員長

委員会の総意が得られたと判断しがたいことから、この件については、市長への確認質問は行わないこととする。

ほかに、市長に確認しておきたい事項等はあるか。

－ 意見なし －

木戸委員長

ないようなので、今回は市長への確認質問はなしとする。

**表 決**

- 議案第 87 号 平成 30 年度篠山市一般会計補正予算 (第 7 号)  
議案第 88 号 平成 30 年度篠山市下水道事業特別会計補正予算 (第 2 号)  
議案第 89 号 平成 30 年度篠山市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 2 号)  
議案第 90 号 平成 30 年度篠山市国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号)  
議案第 91 号 平成 30 年度篠山市介護保険特別会計補正予算 (第 2 号)  
議案第 92 号 平成 30 年度篠山市農業共済事業会計補正予算 (第 2 号)  
議案第 93 号 平成 30 年度篠山市水道事業会計補正予算 (第 2 号)  
議案第 94 号 平成 30 年度篠山市農業共済事業会計補正予算 (第 3 号)

— 討論なし ・ 全員賛成で可決 —

木戸委員長 委員会の審査報告については、委員長に一任願いたい。

— 異議なし —

木戸委員長 本日の会議記録については、事務局に調製させ、委員長、副委員長において内容確認を行いたい。これに一任願いたい。

— 異議なし —

大西副委員長 挨拶

10 : 43 閉会